



11/3(火) 文化の日。歴史ロマン街道～「尚寧王の道」～たどる

11月3日、うらおそい歴史ガイドの説明を受けながら、尚寧王の命により改修されたかつての街道を歩くイベントが開催されました。

参加者は街道を散策しながら、街道沿いに見られる文化を学び、首里城久慶門を目指しました。

このイベントは文化の日に合わせて毎年開催されており、今年は300人を超える参加者がいて、中には本土から来た方や初めて参加される方もいました。

「浦添の歴史に以前から興味がありジョギングコースなので楽しめました」と、参加者は浦添の歴史を楽しみながら学んでいました。



11/8(日) 地域でクリーンアップ作戦

11月8日、牧港川上流域にあたる浦西中学校で、第14回牧港川クリーンアップ作戦が行われました。

早朝から287人の参加者が草刈り機やカマを手作業で行いました。

作業場周辺は足場が悪いため、作業は手間を要しましたが、きれいな川が現れると、水鳥の姿も見ることができました。この取組は、市民、事業者、市民団体、行政が「協働」で清掃活動を行うものです。

参加者の皆さん、暑い中お疲れ様でした！



11/1(日) 第4回桑っちーグランプリ&スイーツフェアグランプリ決定!

11月1日、てだこホールで開催され、今回は来場者が投票し、グランプリを決定しました。

料理部門では、ゆうづきの「桑っちータコライス」、菓子部門では、アルペンローゼの「浦添ベリーカップ」がグランプリに選ばれました。

学生部門では、浦添工業高校調理科と琉球調理師専修学校が特別賞を受賞しました。

会場には多くの来場者が訪れ、桑の実や葉を利用したスイーツや料理を食べ、幸せな時間を過ごしていました。



話題がいっぱい!
なかゆくい



11/10(火) ブラジルからの研修生が「移民」について伝えました

11月10日、浦添市南米移住者子弟研修生受入事業で来沖しているブラジルからの研修生2人が、前田小学校6年生に「移民」について伝えました。2人は、浦添からブラジルに移住していった祖父母の歴史やブラジルに浦添郷友会があることを紹介したほか、クイズゲームを通してブラジルについて教えました。

参加した生徒からは「遠いブラジルにも浦添があって、沖縄に思いをはせていることが分かりました」との感想がありました。



11/17(火) 税について理解を深める

11月17日、中央公民館で、「税の役割と税務署の仕事」をテーマに募集した「標語・作文」の優秀作品に表彰を行いました。

これは、11月11日から17日までの「税を考える週間」の取組の一環として行っているもので、将来を担う子供たちに税について考え、正しい理解を深めてもらうことを目的としています。

今年度の受賞者は「税に関する標語」18人、「税についての作文」35人、「高校生の作文」2人でした。

税を身近に感じ、学ぶ機会になりました。



10/2(金) 自分自身も仲間も大切に。市内中学校で思春期講話

10月2日、仲西中学校で、助産師の富名腰清子さんを講師に迎え、「思春期の性と生を考える学習会」が行われました。

思春期に起こる、心と体の変化に対して「正しい性を学び真剣に考えて、自分を大切にし、素敵な時期をたくさんの仲間と過ごしてほしい。」と講話を通して生徒達へ伝えていました。

聴講した生徒は、「思春期の心の変化が印象に残った」と語り、思春期の心と体の特徴を理解できた講話となりました。



11/3(火) 2015 うらそえYA文芸賞表彰式

11月3日、2015うらそえYA文芸賞表彰式が浦添市社会福祉センターで行われました。

今年度は、短編小説部門と詩部門で112作品の応募があり8人が受賞しました。それぞれの部門の煌賞受賞者からは「心情描写にとっても苦労したが、作品が評価されてうれしい」「自分で自分を褒めたい程よくできた作品、今後も様々な創作活動をしていきたい」と受賞の喜びを語ると共に今後の活動に意欲を見せていました。

・短編小説部門 煌賞 津嘉山 元(前列右)

・詩部門 煌賞 伊豆味えり花(前列右から2番目)